資料10-1

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

運営・研究部会

活動報告・計画

平成23年5月31日
総会資料

運営・研究部会

平成22年度活動トピックス

- けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010開催(12月9日)
- 2次元通信セミナー開催(5月10日)
- 総会において、平城遷都1300年祭で展示する技術を紹介(5月27日)
- けいはんな情報通信フェアにおいて活動紹介の展示(11月4日～6日)

◇ リーダーの変更

・企画・広報分科会

【退任】富田　義数 様（三洋電機研究開発本部技術企画室担当上席部長）

【新任】松本　幸則 様（三洋電機研究開発本部技術企画室戦略企画部担当部長）

・ユニバーサルコミュニケーション分科会

【退任】西田　豊明 様（京都大学大学院情報学研究科教授）

【新任】萩田　紀博 様（国際電気通信基礎技術研究所所長）

◇ 分科会、WGの変更

・映像コミュニケーションWGの発足、メンバーの募集

・ユビキタスネットワークロボット専門委員会をユニバーサルコミュニケーション分科会のWGとして改組(平成23年度より)

平成22年度活動報告①

1. 創造系活動

① 新たに、映像コミュニケーションWGをユニバーサルコミュニケーション分科会のもとに設立し、メンバーの募集を開始。
② WG活動支援費を新設し、所属する会員企業数に応じてWGに配分した。補正予算により増額し、実験用機器や研究会旅費などに利用していただいた。
③ セミナー、シンポジウムでアンケートをとり、協議会活動への要望等をとりまとめた。

2. 促進系活動

① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2010「動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢～北ヤードは何をもたらすのか～」開催（12月9日@大阪梅田スカイビル）。
② けいはんな情報通信研究フェア2010（11月、けいはんな）において、新たにブース展示をおこない、研究活動の紹介とアピールを実施。
③ セミナーの開催による情報提供、人材育成を実施（5月10日に「２次元通信セミナー」@ATRを実施）。
④ 平城遷都1300年祭にて、大極殿の映像の衛星中継などデモンストレーションを実施。
⑤ ウェブページによる会員相互のコミュニケーションを促進し、協議会活動の一層のＰＲ、普及・啓発活動の強化につとめた。特に、ウェブページに研究資金の公募情報を充実させた。
⑥ 新パンフレットの作成。
⑦ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム等）との交流促進。
⑧ 地域の研究開発活動との連携強化の検討（けいはんなエコシティ推進会議、ユビキタス特区、うめきたナレッジキャピタル等）。

3. 整備系活動

① 超高精細3D映像テストベッドの整備などオープンラボ施設の充実につとめた。
② JGN2Plusなどのネットワーク施設の維持、運用をおこなった。

平成22年度活動報告②

	平成22年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第8回分科会（4/8）												● 第9回分科会（4/7）
創造系活動	→	● 映像コミュニケーションWG設立、メンバー募集		WG活動支援					● WG活動費増額	→			
促進系活動	→ セミナー開催準備			● 平城遷都1300年祭展示（7月）			→ シンポジウム開催準備		● 平城遷都1300年祭展示（11/5-7）		→ セミナー開催準備		
	→ 随時情報発信（Webサイト＆Newsメール送付）												
整備系活動	→ けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用												
	→ JGN2Plusなどのネットワーク施設整備・運用												
【オープンラボ関連】	● 第10回運営研究部会（4/20）	● セミナー（5/10）	● 第9回協議会総会（5/27）				● けいはんな情報通信研究フェア2010（11/4-6）		● 協議会主催シンポジウム（12/9）				● 第11回運営研究部会（4/20）
	→ オープンラボ協議会事務局打合せ、月1回程度開催												

２次元通信セミナー開催報告

○開催日時：平成22年 5月 10日(月) 14:00～17:00
於：(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) G階・01会議室

○講　　師：
「フレキシブル二次元導波路によるスマートスーツ」
横浜国立大学大学院工学研究院　教授　新井 宏之 氏
「人体近傍電界通信技術の開発とアプリケーションの開拓」
NTTマイクロシステムインテグレーション研究所　門 勇一 氏
「マイクロ波無線電力伝送の現状と課題－他方式との比較－」
京都大学生存圏研究所　教授　篠原 真毅 氏
「二次元通信技術の現状と課題」
東京大学情報理工学系研究科　准教授　篠田 裕之 氏
「協議会における二次元通信WGの活動と今後の予定」
情報通信研究機構新世代ワイヤレス研究センター　張 兵 氏

○出席者数：　５６名
○アンケート回収数：　２６名
○概要

２次元通信とは、テーブルや壁などに機器を接触させるだけで高速通信や電源供給を可能にする技術で、今後大きく発展することが見込まれている。また、２次元通信技術の関連技術として近傍界での信号伝送とワイヤレス電力伝送技術の研究開発も注目されており、そのキラー・アプリケーションの開拓もたいへん期待されている。

本セミナーでは、まず新井先生はフレキシブル二次元導波路によるスマートスーツの開発について紹介された。次に、門部長は人体近傍電界通信の技術開発の背景と原理を述べられたとともに、安定な人体通信を確保するために効率的な電界誘起技術と環境雑音除去技術について解説された。また、篠原先生はマイクロ波無線電力伝送について総括され、各方式の特徴をまとめることにより他方式との比較を行われた。さらに、篠田先生は2次元通信の最新成果を交えて、その原理説明から多様なアプリケーションの可能性について紹介された。最後に、張主任研は協議会における2次元通信WGの活動紹介と今後の予定について紹介された。

参加者アンケートでは「ためになった」との感想が96％あり、「情報通信IT分野の最先端技術の現状と課題をまとめた今回のようなセミナーは是非聞きたい」、「非常に中身のあるセミナーだった」など好評を得た。

シンポジウム開催報告

○開催日時：平成22年12月9日（木） 13:30～17:30
於：梅田スカイビル（大阪市北区）

○来場者数　　：　225名（交流会は74名）

○アンケート回収数：　38名

○全体講評

会場がほぼ満員となる中、基調講演では、科学・技術と感性やアートとを融合し、グランドデザインを描くことが今後の方向として重要であるという指摘をいただきました。パネルディスカッションにおいても、新たな産学官連携の場となることを目指し開発が進む北ヤードとけいはんな地区との連携のあり方や感性を磨く場としての北ヤードの有用性などが議論されました。出席者からは、活発な議論が興味深かった、北ヤードでの技術やサービスの展開への期待や意気込みを感じたなどの感想をいただきました。

テーマ：動き出した大阪駅北地区・KANSAI・明日の夢
～北ヤードは何をもたらすのか～

○プログラム

◆開会挨拶・主催者挨拶
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事長
松下　正幸 氏（パナソニック株式会社　副会長）

◆基調講演「新たな価値創造拠点～梅田北ヤードを語る」
宮原　秀夫 氏（NICT理事長）

◆特別講演「大阪・関西の発展に向けて
～大阪市の成長戦略と大阪駅北地区での取組み～」
北村　英和 氏（大阪市計画調整局長）

◆協議会の活動紹介
・エネルギーの情報化ワーキンググループ　松山　隆司 氏（京都大学教授）
・映像コミュニケーションワーキンググループ　荒川　佳樹 氏（NICT）

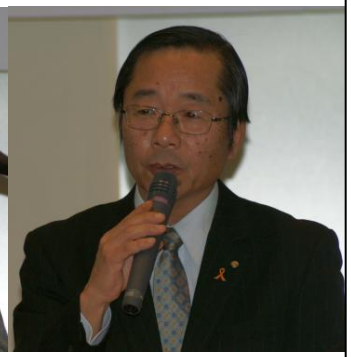
◆パネルディスカッション
「大阪駅北地区への期待」
（チェア）宮原　秀夫 氏（NICT理事長）
（パネリスト）
・下條　真司　氏（NICT上席研究員・VislaboOSAKAリーダー）
・野村　卓也　氏（（株）スーパーステーション代表取締役）
・萩田　紀博　氏（ATR情報環境総合研究所所長）
・長谷　雅彦　氏（NTTサイバーコミュニケーション総合研究所所長）
・玉井　博文　氏（マッスル（株）代表取締役）

◆閉会挨拶
けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会理事・部会長
丸野　進　氏（パナソニック株式会社　理事・技監）

◆展示会・交流会

開会挨拶・主催者挨拶：松下正幸氏

基調講演：宮原秀夫氏


特別講演：北村英和氏

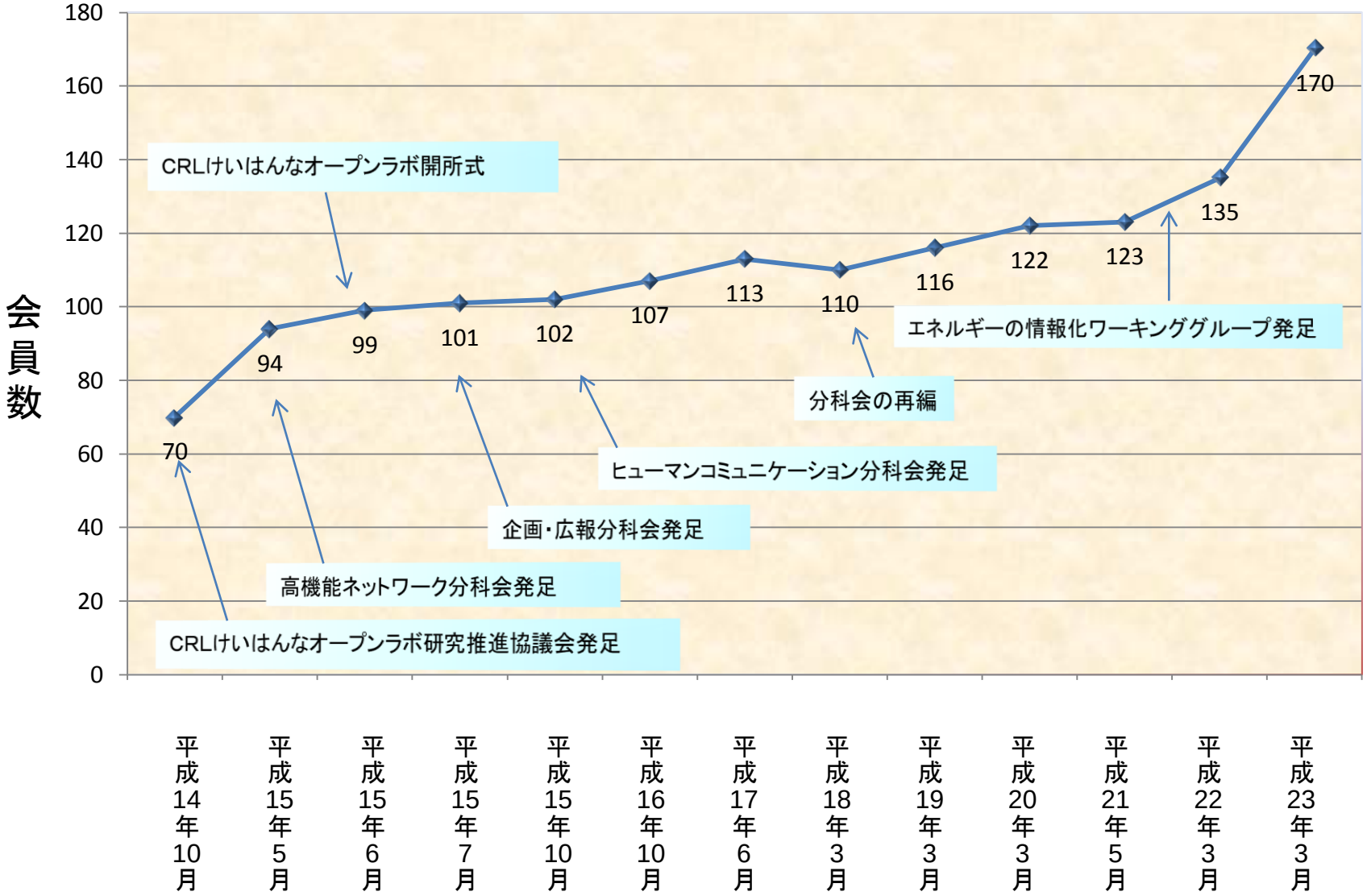
閉会挨拶：丸野進氏

ワーキンググループ会員企業や関連団体のポスター展示

会場から見た大阪駅北地区開発現場

パネルディスカッション

会員数の推移


会員数
180
160
140
120
100
80
60
40
20
0
70
94
99
101
102
107
113
110
116
122
123
135
170
CRLけいはんなオープンラボ開所式
CRLけいはんなオープンラボ研究推進協議会発足
高機能ネットワーク分科会発足
企画・広報分科会発足
ヒューマンコミュニケーション分科会発足
分科会の再編
エネルギーの情報化ワーキンググループ発足
平成14年10月
平成15年5月
平成15年6月
平成15年7月
平成15年10月
平成16年10月
平成17年6月
平成18年3月
平成19年3月
平成20年3月
平成21年5月
平成22年3月
平成23年3月

分科会参加状況

分科会、ワーキンググループ(WG)への参加人数（平成23年3月現在）

新世代ネットワーク分科会		
分科会	相互接続性検証WG	フォトニックWG
40	68	21

※WGのみ所属している人がいます。

ユニバーサルコミュニケーション分科会			
分科会	2次元通信WG	エネルギーの情報化WG	映像コミュニケーションWG
139	30	106	2

※WGのみ所属している人がいます。

ユビキタスネットワークロボット専門委員会		
委員会	オープンプラットフォームWG	生活支援型コミュニケーションWG
8	3	9

平成22年度オープンラボ利用状況

＜新世代ネットワーク分野＞

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
	次世代コンテンツディストリビューションネットワーク基盤技術の研究開発	有限会社咲楽屋	4	高速・高信頼性分散データ共有技術、クラスタシステムから広域ネットワークまでスケーラブルなコンテンツディストリビューションネットワーク構築技術、マルチメディアコンテンツを対象とした応用システムの研究開発をおこなった。
計	1	1	4	

＜ユニバーサルコミュニケーション分野＞

	プロジェクト名	研究機関	参加人数	研究概要
共同研究	日中英対訳コーパス作成技術の開発	株式会社富士通研究所	3	NICTにて開発中の日中・中日用例ベース機械翻訳エンジン、および富士通研究所で開発中のエンジンを含む3種のルールベース日中・中日機械翻訳エンジンを用いて科学技術分野の日中対訳コーパスの翻訳精度の比較実験を実施した。また、多言語資源構築用学習コーパスを効率良く作成する支援ツールとして、中国語形態素解析および中国語構文解析の高度化を行った。
	HD映像伝送装置とホール設備との連携における実証実験	西日本電信電話株式会社	8	ハイビジョン映像伝送装置（HDエンコーダ、デコーダ）と、館内設備(プロジェクタ・照明・音響・スクリーン・誘導灯等)との連携のための装置開発をおこなった。
共同研究	超高速インターネットと高精細大画面システムを用いたインタラクティブコンテンツに関する研究	大阪電気通信大学	3	Tiled Display Wall 用の文化財コンテンツの開発と最適な利用方法, インターフェースの最適化を行った。
計	3	3	14	

平成23年度活動計画①

1. 創造系活動

① NICTの新中期計画にともなう協議会体制の整備検討
② WG活動支援費を継続し、WGの運営や活動を支援

2. 促進系活動

① けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2011の開催（11月か12月ころ）
② けいはんな情報通信研究フェア2011において、研究活動紹介、広報活動（11月、けいはんな）
③ 国民文化祭・京都2011において、研究活動紹介とＰＲの実施（10月下旬）
④ セミナー、ワークショップなどの開催による情報提供、人材育成の実施
⑤ ウェブページを活用した会員相互の交流の促進、協議会活動の一層のＰＲや広報・啓発活動の強化
⑥ 他団体（超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、高度言語情報融合フォーラム、AC・Net等）との交流促進
⑦ 地域の研究開発活動との連携強化（けいはんなエコシティ推進会議、うめきたナレッジキャピタル等）

3. 整備系活動

① NICTの新体制にともなうオープンラボ施設の充実
② 次期テストベッドJGN-Xへの移行と新たなネットワーク実験計画の策定

平成23年度活動計画②

	平成23年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成24年 1月	2月	3月	4月
企画・広報分科会	● 第9回分科会（4/7）												● 第10回分科会（4月頃）
創造系活動	→			WG活動支援									→
	→			ニーズ調査、動向調査、テーマ検討									→
促進系活動							→ シンポジウム開催準備						
							● 国民文化祭（10月下旬）						
	→			随時情報発信（Webサイト＆Newsメール送付）、セミナーの企画と開催準備									→
整備系活動	→			けいはんな情報通信オープンラボの整備・運用									→
	→			JGN-Xなどのネットワーク施設整備・運用									→
【オープンラボ関連】	● 第11回運営・研究部会(4/20)		● 第10回総会（5/31）					● けいはんな情報通信研究フェア2011（11月上旬）	● 協議会主催シンポジウム（11～12月）				● 第12回運営・研究部会（4月頃）
	→			セミナーを数回程度開催 オープンラボ協議会事務局打合せ、月1回程度開催									→